

会議名	第2回港区商店街バスラセプログラム事業業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和6年6月11日（火）午前10時から午前11時まで
開催場所	札の辻スクエア8階 活動室
委員	産業・地域振興支援部長 上村 隆（委員長） 産業振興課長 藤咲 絢介（副委員長） 芝浦港南地区総合支所協働推進課長 中村 ゆかり 観光政策担当課長 寺戸 尚美 （欠席） 企画経営部区長室長 小笹 美由紀
事務局	産業振興課産業振興係
会議次第	1 開会 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について 4 閉会
配布資料	<配付資料> 資料1 港区商店街バスラセプログラム事業業務委託事業候補者選考一次審査集計結果 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料3 港区商店街バスラセプログラム事業業務委託プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料4 第二次審査採点基準表（案） 資料5 第1回港区商店街バスラセプログラム事業業務委託事業候補者選考委員会会議議事録（案） 参考資料1 港区商店街バスラセプログラム事業業務委託事業候補者募集要項 参考資料2 港区商店街バスラセプログラム事業業務委託事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書（案）
会議の内容	
委員長	1 開会 本日は1次審査の採点結果を確認し、2次審査に進出する事業者を選考しますので、よろしくお願いいたします。 本日、小笹委員は業務対応により欠席となります。 事業候補者選考委員会設置要綱第6条第1項の規定に則り、本日の委員会は、委員過半数出席のため、有効として進めて参ります。また同条において委員会の議事は、出席委員の過半数で決すると定めておりますので、その通り進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 （他委員、異論なし）

委員長	2 第一次選考結果について 次に第一次選考の結果に議題を移ります。 4 者から応募があったとのことですが、うち 1 者については 6 月 14 日付で港区競争入札参加有資格者指名停止措置要綱に基づく指名停止の措置を受ける予定と、契約管財課から事前の情報提供がありました。よって、C 事業者は参加資格喪失のため、失格となりました。 本日は 3 者のうち、二次審査に進む事業者を決定します。 集計結果など、議題に関わる資料について事務局から説明をお願いいたします。 (事務局から「資料 1 一次審査集計結果」について説明)
委員長	それでは評価したポイントなど各委員から順番に講評をお願いします。
委員 D	A 事業者の配置計画の提案書に記載のある「補佐役」という表現は、他の事業者がきっちり書いていた中で不明瞭だったと思います。インフルエンサーの先行 1 名はどんな人を想定しているか聞いてみたいと思います。 レトロプロモーションというテーマもあって良いと思いましたが、カプセルトイについては、私はあまり面白くないと思ってしまいました。ポチ袋もアイディアとしては面白いですが、全面写真のポチ袋はどういった用途で使うのかと思ってしまいました。 活動期間は冬の時期になりますけれども、商店街で冬にどのぐらいのイベントがあって出演が見込まれているのか、区内でどのぐらい出来るのかなと思いました、A 事業者については以上です。評価は普通という感じです。 次に B 事業者です。人員体制は 7 月に育休から復帰予定でこの業務に注力できる予定、という不確定要素もあるのでしっかり体制を整えて欲しいかなと思いました。情報発信は近隣エリアも想定していて、20 代、30 代若い人にとということであるので、広がりはあるのかなと思います。B 事業者はインフルエンサーをもう 1 人の男性を中心に大々的に今後展開というのは見解が分かれると思います。この男性がすごい方で、コアファンがいれば、確かに一時的なバズらせになるのかなと思いました、この方が外れちゃった後はどうなるのだろうと気になりました。ただ、選出方法、カプセルの投票っていうのはゴミのこととかも考えて独自性があるかなと思いました。オリジナルグッズは 1 年間、港区商店街を 1 年通してこう見てもらいたいっていうような写真で出来ていて、よかったのかなと。 次に、D 事業者です。こちらも人員体制はしっかり書かれていましたが、街のハーモナイズっていうプロモーションのテーマが 20 代・30 代に関心興味を高めるかどうかというところがわかりませんでした。行政的には調和とかあると思うのですが、10 代から 30 代の若い人たちにどこまで刺さるのかはちょっとわかりません。 そして、オリジナルグッズは動画・写真コンテストの入賞作品の魅力を捉

	えたオリジナルグッズを考えてくださいという回答に額縁。好きな写真に変えることも可能というのは、入賞作品はどこに行っちゃうのかなって思いました。 インフルエンサーの選出は「港区女子」。港区女子については、こちらも見解が分かれるかと。 インフルエンサーで応募する人が港区女子に憧れる人なのか。商店街は港区女子のイメージをどう考えているのでしょうか。東京カレンダーとか港区女子が行くレストランは商店街に入っているのかとか、そういうことを考えるといかがなものかというところがありました。 カプセルトイのピンズは、商店街っぽくなかったかなと。設置場所の案はよかったです。観光協会とかだったら、このデザインとかはわかりましたが、20代・30代どう使うか、どういうところに刺さるかというところは疑問でした。
委員長	続いて委員C。
委員C	A事業者については全体的に活動期間が短いように思いました。様式8に情報配信をしようとしているところとかは渋谷のサイネージとか、若い人に刺さるのかなと思いました。 カプセルトイのデザインは、プロモーションのマークとか見たことあるような感じで勿体ないなという印象です。様式10の提案書、インフルエンサーが出演するイベントは写真を見ると人数的にも少なく内輪で勿体ない印象がありました。 続いて、B事業者です。この企画自体も視認性の高さが求められると思うのですが、資料が全体に文字が多く視認性が低い感じがしました。デザインも得意ではない事業者なのではと思ってしまいます。区ができないことをやってもらう方がいいので、どうかと思って採点しました。 インフルエンサーはこの方というのは具体性があるよいかと思いましたが。商店街の顔面ポーチは、顔面として出たいと思う方がいるかどうか、実際これが表に出て行ってバズるのかというのが分からなかったです。 D事業者についてです。キャンペーンコードが長くて、パッと見て、何を指しているのかわかりにくいのと、全体的に企画が弱いと思いました。
委員長	次に委員B。
委員B	全体の評価でA、B、D事業者の順々で10点ずつぐらいの点差になっています。評価項目ごとで見ると甲乙つけがたいところもあって、正直どこが優れていてといったところも決めかねるなと思っています。 A事業者は、経験と実績がある点はよかったです。従業員が少なく専任従事者が少ない点については気にかかりました。レトロにフォーカスを当てており、着眼点としてはよかったかと思いますが、商店街は先進性として「先端」な部分の商店街のイメージもあるので、レトロと先端といった

	多様性・多彩性を表現できるとより良かったかなと思います。 動画の配信場所としては、唯一大型ビジョンがあり、発信するという意気込みというか姿勢が感じられて良かったかなと思います。提案は時間や時期にまで踏み込んでもらえるとう良かったかなと思います。また、設置場所については新橋に偏っており、バランス感覚に欠く印象です。協議にとどまっている印象で、予算としてどのくらい見込んでいるのか確認しておきたいと思いました。 カプセルトイは現存しているものと、今はもうなくなってしまったものが提案されていて、そうした視点は面白い発想で評価できるかなと思います。 続いてB事業者です。人員として、映像系のスタッフが多く、企画・PRをする人員がいるのかどうか懸念があります。商店街動画を編集することによるリスクなど、動画に対する具体的な提案があるのはいいなと思いました。 インフルエンサーについては、皆さん言っていましたけどフォロワー10万人の方が、万人受けする人選かどうかというのは疑問があります。 カプセルトイ業界の専門家が企画協力する点は、事業者の専門性を補完する作用はあるが、区や商店街の意向と、専門家の意向とのバランス調整をどうするか、二次審査で伺いたいです。 商店街にカプセルトイを設置するルートは、区でも考えつくというか、そのあたりも専門的な意見が欲しかったなという印象です。 オリジナルグッズについては割オリジナルグッズについて、割引券（特典クーポン）との提案があるが、この割引分は見積内に含まれているのか。含まれていないとすると、安易に商店街に負担を強いるのは、商店街への配慮という点でもう一步理解がほしいかなというように思います。 続いてD者です。D者はイベント企画の業務実績が豊富で、チーム体制が総勢10名と充実している点は評価できます。 一方で「ハーモナイズ」という表現が、どの程度メッセージ性があるかは不安が残ります。抽象的な表現、イメージであるため、区民に直感的に伝わるか難しいところがあると思います。代案である「港区公式女子決定戦」は、男女平等の視点からみると慎重に扱う必要があります。 カプセルトイのピンズモチーフ案には個性がなく、無難なイメージ。設置場所についても、区でも設置に向けた調整が容易にできる場の提案に留まっていると感じます。オリジナルグッズの提案にも独自性はなく、商店街との関連性も見出せません。
委員長	それでは委員A。
委員A	皆さんからも出ていましたけども、インフルエンサーのオーディションに依り決定する方法は案としては面白いのかなと思いました。カプセルトイのキーホルダーも悪くはないけれど、もうひとひねり欲しいなと思いましたけど、許容範囲なのかなという感じはしました。

	専任の担当者がいない感じだったのは惜しかったなというふうに思います。 あとB事業者は7月から専任の担当者がいるみたいで、そこはすごくよかったと思います、メインのインフルエンサーも具体的で、評価できるのかなというふうに思いました。皆さんが言っていますが、カプセルトイの商店会長の顔みたいなグッズはセンス的にどうなのかなっていうのは感じたところがあります。 あとC者は、イベントでのインフルエンサーの決定は良いと思っていて、イベントには慣れている事業者かなと感じました。 全体的には、一長一短で、比較が難しかったです、点数的にA事業者が一番高い形になっています。 皆さんの意見を見たところ、A事業者を一番に選んでいる人が5名中3名ですね。B事業者が1名。D事業者を1名、1位に選んでいると。 全体的に一長一短なところがありますが、全体的にA者ちょっとだけリードしています。各委員の方からの講評を踏まえて、審査にあたって意見交換したいと思いますけども何か意見ありますでしょうか。
委員長	事務局から、本日欠席の委員Eの意見について説明してもらえますか。
事務局	委員Eからは1次審査について何点か事前にコメントを頂いています。 「従事者の体制は、人員の差はありますが支援体制は取られているため、進捗に大きな影響はないだろうと受け止めています。カプセルトイやオリジナルグッズについては、大きな差はないと感じましたが好みで評価が変わると思います。インフルエンサー選出については、各事業者工夫は凝らしているが目新しさはないと感じました。選出に当たって賞金を出すことについて効果はあるとは思いますが、個人的には少々疑問を感じています」 以上です。
委員長	何か全体を通じて、ご意見とかありますでしょうか。
委員B	私、B事業者のオリジナルグッズの評価を、評価2をつけていましたが、評価3に上げたいと思います。
委員長	他はございますか。
委員C	カプセルトイ設置場所など提案が正直、区有施設とか割とお金をかけずに設置できる場所が多いとといいますか。インフォメーションセンターなど調整はしたのかわかりませんが、東京タワーなど設置できないのではというところもありますね。
委員長	案としては出てきていますが、調整していない可能性はありますね。

	二次選考で聞かないといけないこと、確認しないといけないことは整理しないといけないですね。他、採点についてはよろしいでしょうか。 では、変更１ヶ所ありましたけど、そこはまた事務局に整理して頂いて、二次選考で共有していただければと思いますのでよろしくお願いします。
委員長	それでは、１次審査の評価の点数ですけども、Ａ事業者は６４１点、Ｂ事業者が６１９点、Ｄ事業者が６０２点ということで決定をさせていただいてよろしいでしょうか。 一次審査の通過の事業者ですが、募集要項等では、３者程度としておりますので、ただいまの審査の結果を踏まえて、何事業者を一次選考の通過とするか、ご意見ありますでしょうか。
委員Ｂ	甲乙つけがたい部分もありますので、出来ましたら、２次審査では、各社から提案を伺ったうえで採点したいと思います。
委員長	他にご意見はありますか。 （意見なし）
委員長	それでは二次選考に進むのは、３者で進めたいと思います。 ありがとうございます。
委員長	二次次選考について、事務局の方から説明をお願いいたします。
事務局	（二次選考方法について説明） 二次選考について、３点確認したいことがございます。 １点目はプレゼンテーション時間、質疑時間について１０分、１５分のいずれも妥当であるかどうか。２点目はプレゼンテーション時に各事業者に共通して質問を行うかどうか、３点目は、共通質問事項について、追加資料を認めるかどうかです。
委員長	事務局からの確認事項について、ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。
委員Ｃ	カプセルトイの設置場所は、それを商店街に実際に置いたことによる効果みたいなものを考えてのことだと思うので、設置場所についてなんでそこなのか、設置に伴う考えを伺いたと思いますますが、いかがでしょうか。
委員長	その場で聞いてすぐ回答が返ってこない質問は、事前にちょっと上げといった方がよさそうですね。 事前にその設置場所のことについては、共通質問事項という形で進めたいと思います。

委員長	他にはよろしいでしょうか。 (意見なし)
委員長	あと、3つの追加資料ですね。
委員B	この部分をPRしたいという部分があれば、追加資料も認めてよろしいのではないのでしょうか。
委員長	追加資料認めないほうがいいっていう、委員の方はいらっしゃらない。
委員E	共通質問事項が出ていますので、その答えが追加資料で読めるということであればいいのでしょうか。
委員A	追加資料は認めるっていう表現なので、出すのも出さないのも一応そこは自由ですという扱いにすればよろしいのでは。
委員長	それでは、審査のプレゼンテーション時間は事務局の説明どおりということで、後は、カプセルトイの設置場所について共通質問事項を行い、その回答をもらう場合に追加資料についても認めるということでいきたいというふうに思います。 それでは予定された議題は終了しました。 以上をもちまして第2回の事業者戦候補者選考委員会を終了いたします。